

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	しあわせ駅 琉大北			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 20日 ～ 2026年 3月 13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名 (兄弟を含む23世帯)	(回答者数)	23世帯
○従業者評価実施期間	2026年 2月 20日 ～ 2026年 3月 13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 13日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援として、公認心理師の職員を中心に職員や保護者向けのペアレント・トレーニングや勉強会等を実施できていること。	職員ミーティングで勉強会を取り入れたたり、外部研修を終えた職員に事業所研修として報告会を行っている。 2か月毎に保護者向けのペアレントトレーニングの実施。 保護者の相談に応じて面談等の実施を行っている。	今後も2か月毎の保護者向け勉強会の実施を行う。 保護者、利用者に寄り添いながら関わりを持っていく。
2	定期的に保護者会を開催し、保護者間での意見交換や情報交換を持っていること。	保護者会を通して、保護者同士のつながりを深めていっている。	保護者会の開催を行い、多くの保護者が気軽に参加できる環境体制を整えていきたい。
3	個々に合わせた活動支援プログラムが構築でき、利用者一人一人の安心や満足度を高めることができている。	利用者さんからの活動の要望を積極的に取り入れたたり、提案してもらうことで、職員も臨機応変に対応している。	日々新たな取り組みを検討しながら幅広く活動ができるよう工夫を行っていく。 年齢も上がっているので、自立や将来を見据えた取り組みも多く行っていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながりや関わり、移行支援が十分に行えていない。	障がいのない子ども達との交流する機会をほとんど持つことができていない。	活動の場所を地域に目を向け、図書館や児童館の活用、放課後学童クラブとの交流できる機会を多く作っていく。
2	対応する職員によって、支援方法や伝達面での不十分で行き届いていないケースが見られる。	経験や感覚の違いが生まれてしまっている。	職員間で統一した支援ができるよう、勉強会や職員会議を通してスキルアップを図っていく。 送迎時や顔を合わせる場面で些細なことでもしっかりと連絡ができるように努めていく。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	しあわせ駅 琉大北		公表日		令和 8 年 3 月 30 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		各部屋ごとに活動の内容を明確にし利用している。学習室やプレイルームが個別にある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		職員の適正に応じて、各部屋、活動に配置できるようにしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		段差があるルームには注意喚起の為、声掛けを促すよう行っている。	段差ある為、工夫が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		子ども達と活動の中で清掃活動を取り入れながら環境整備を行っている。活動毎に部屋を分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		特性に応じて過ごしやすい場所を見つけながら環境設定を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		日々の朝礼や職員会議にて連携を図り、業務の改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		保護者の意見、要望を親身に受け止めて改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		日々の朝礼や職員会議にて連携を図り、業務の改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2		今後、連携を図っていくよう努めたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		職場内研修や社内研修、しあわせ駅内の他事業所研修を行いながらスキルアップを図っている。	今後も全職員が研修に参加できるよう体制を整えていきたい。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		管理者会議等で意見を出し合い作成し、ホームページにて公表をしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		日々の活動の変化を職員全員で観察し、アセスメントに繋げ、サービス計画に反映させている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		職員会議の中で個別支援会議を開催し、全職員で参加し周知している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		職員会議の中で個別支援会議を開催し、全職員で参加し周知している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		日々の毎利用時に個別の活動記録を記入している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		個別支援会議の中で目標設定を行い、必要な支援を検討しながら組み込んでいる。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		職員内で役割分担を決め、計画案から反省までチームで動いている。	

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		前週のプログラムを確認し、職員会議で話し合い次のプログラムを常に作成している。学習支援、自立支援、余暇支援と児童のニーズに合わせた活動が行えるよう取り組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		職員会議、担当者会議等で子どもの状況を把握しサービス計画の作成を行い支援に取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎朝、朝礼を行い確認ができています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	9		なるべくその日で振り返るよう努めているが、できない場合には、翌日の朝礼にて確認を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		職員間でしっかりと支援計画に基づく記録ができるよう、計画書を確認しやすいようにしている。必要に応じて職員会議の中で支援の方向性の統一を図っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		各関連機関との連携を密にして行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		ガイドラインを元に取り組みの幅を増やしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		職員会議にて全職員で活動の報告などを行い、次の活動の検討を行っている。遊びの中での自己選択、自己決定をできる場面を設定している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児発管が参加するよう努めており、その他児童との関りの深い職員も参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		必要に応じて相談できるように心がけている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		学校からの年度計画書や月だより等を事業所にも保管して連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1		現在、相談支援事業所・保護者からの情報提供が主である。必要に応じて行ってきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1		まだ卒業生がいない為、行っていないが、今後必要に応じて行ってきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		研修等の参加機会があれば、参加してきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9		近隣の公園にて、地域の子や学童クラブとの交流を図ることができている。夏休みには学童クラブとの交流会の実施も行った。	今後も地域活動を多く取り入れながら、交流の機会を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3		今年度はほとんど参加することができなかった。今後は是非参加してきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時の際、1日の活動の様子を伝えている。定期的なモニタリング、評価面談を実施し、保護者との情報共有を行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		公認心理師の職員を中心に定期的に保護者勉強会を行うことができた。	保護者が求める支援や必要に感じる内容を取り入れられるよう、事業所内で毎月の保護者会が行えるよう努めていきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約の際に、保護者にしっかりと伝わるよう意識して、説明するようになっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		担当者会議やアセスメントを活用し、こどもや家族の意向を確認している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		支援計画配布時に説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		必要に応じて面談の機会を設け、助言や支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9		定期的保護者勉強会、家族向けの親子交流会などを開催している。	今後も保護者交流会などを通して保護者のつながりを大事にし、情報交換会なども行っていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		問題があった際には、日々の朝礼やミーティングにて情報共有を行い、早急に対応策を考えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		LINEを活用しながら連絡を取り合い、活動の様子を紹介したり、SNSにて情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報許諾書を元に最大限の注意を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		児童が気にならないように、保護者と調整しながら電話等や面談場所を検討し情報共有を行ったりしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	定期的に地域の清掃活動を行うようにしている。	関わりはほとんどないので、自治会等の活動にも参加できたらと思う。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			職員への周知はできているが、保護者への周知があまりできていないので、活動を通しながら周知していきたい。また年度初めには再周知を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		法令に基づいて年2回以上（2か月に1回）のペースで避難訓練の実施を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		アセスメント作成時に確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		医師の指示書はないが、保護者とは情報を共有し、食育の際は確認をとりながら注意を図っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		社内での委員会の研修や訓練の実施を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		実施時に活動動画等で周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットファイルを用意し、職員が随時確認できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		社内での委員会の研修の実施。その後の伝達研修を全職員へ周知を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			現在、対象児童がいない。今後必要とする児童がいる場合は、マニュアルの下、行うことを全職員に周知を徹底していきたい。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	しあわせ駅 琉大北
------	-----------

公表日 年月日 令和 8 年 3 月 30 日

利用児童数 29名

回収数 23名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22		1		・ボール遊びやスポーツはできれば棚などの家具がないのが好ましい。 ・広いスペースで子ども達も大満足です。	思いっきりスポーツや運動をする際には室内ではなく、屋外や施設などを活用し子ども達がたくさん体を動かせるような活動していきたいと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21			2	なかなか事業所に行けず人数等が分かりません。	利用契約時や年度初めの際に職員紹介の案内も作成し配布したいと思います。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	2		1	・生活空間をじっくり見たことがないの でゆっくり見学したい。 ・バリアフリーと言われると段差が気になる。	保護者様も気軽に室内で過ごしても構いません。 必要に応じてバリアフリー設備を整えていきたいと思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23						
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1			・担当してくださる支援者によって変わると感じています。 ・喜んで通ってくれているのでいつも感謝の思いです。 ・個々に応じて活動内容を考えて下さっておりありがたいです。	職員間でもミーティングを通して統一した支援ができるように心がけていきます。 今後も利用者のニーズ、声をたくさん聞きながら活動を進めていきたいと思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1		1		今後も幅広い活動を心がけて取り組んでいこうと思います。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22				1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21				2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22				1	本人のやりたいことを優先していただき感謝です。	子ども達が毎利用時に楽しかったと思える様々な活動を今後も取り入れていきたいと思います。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17	2			4	・私分からないだけかもしれません。 ・他の施設との交流を考えて下さっている。	公園遊びや地域活動を通して交流を図ってきたいと思います。昨年は地域の学童クラブとの交流会を行いました。今年も夏休みに計画をしています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22				1		見学时や契約時にもっともっと丁寧に説明できるよう努めてまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22				1		面談等を実施しながら、説明に努めてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23					・ペアトレの他にもスキルトレーニングがあり、ありがたいです。 ・2か月に1度の保護者勉強会、保護者の方々との交流もあり有意義な時間です。	今後も定期的な保護者勉強会の実施を行っていく予定です。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2				定期的な面談以外にも必要時に相談しやすい。	お気軽に相談できるように職員も対応していきたいと思います。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22			1	たくさんの支援をさせていただいて本当に助かっています。ありがとうございます。	今後も、保護者、利用者に寄り添った支援を心がけていきたいと思っています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	1			なかなか参加できていないので、いつか行きたいと思っています。	2か月の1回の保護者勉強会の実施。年3~4回の保護者交流会を今後も予定しています。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23					子どものことで気になったことは、いつもすぐに聞いたり相談できる体制だと感じています。しかし、人材の異動が多く前のことを知っている支援者がいなくなってしまったのは保護者としても辛いと感じます。責任者（管理者）だけは異動しないでほしいと子どもを含め私も思っています。いつも温かい声かけや子どもに寄り添った支援を本当にありがとうございます。現管理者の異動がないよう願っています。	事業所内でも職員間でしっかりと情報共有を図りながら保護者への対応を図っていききたいと思います。人事異動に関しては本部とも調整しながら、検討を図っていただけたいと思います。温かいお言葉ありがとうございます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1				その場の先生によって違うと思う。	統一した対応ができるよう職員一同連携をとっていただけたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23						
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1	1	1		毎年初めに各種マニュアルの配布を行いながら周知を図っていききたいと思います。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1		3	定期的に避難訓練があり、子ども達への意識づけにもなっていてありがたいです。	今年度は2か月に1回のペースで避難訓練を実施しました。今後も継続しながら訓練を進めていきたいと思っています。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23					活動の中で転んだようで、服が汚れて帰宅した時があったので驚いたことがあり、ケガ等がなかったが、ラインでも活動状況の伝達や旨を知らせて頂けると安心かと感じた。	活動中のケガや体調管理については徹底して直ぐに連絡できるよう改善していきたいと思っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23				・大変安心しており、自分のことを理解し受け入れてくれる場所だと感じているようです。 ・安心しています。	今後も、保護者、利用者に寄り添った支援を心がけていきたいと思っています。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23				・しあわせ駅さんへ行くのをとても楽しみにしており、彼のモチベーションにもつながっています。いつもありがとうございます。 ・楽しみにしています。 ・しあわせ駅の先生方、お友達が大好きで通所をとても楽しんでいます。これからもどうぞよろしくお願います。	私たちも毎日利用者さんに会えることを楽しみにしています。 今後も、保護者、利用者に寄り添った支援を心がけていきたいと思っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				・息子も私もすごく助けられています。本当に感謝です。 ・とても満足。通えて助けられています。	今後も、保護者、利用者に寄り添った支援を心がけていきたいと思っています。	